

子どもの体力向上に向けた方策等について【島本町教育委員会】

小学校

(課題)

意識調査の「運動が好き」「体育の授業が楽しい」が大阪府・全国と同じか、上回る。一方で、「体力に自信がある」と回答した児童は、大阪府・全国よりも下回る。また、男女ともA層の児童の割合が低く、運動が不得意な児童が多い。このことから、体育授業における運動量が少ない、基本的な動作(投げる・跳ぶ等)が身につけていない。



**子どもの体力向上に向けて、
低学年から基本的な動きを身につけて、運動量を確保する体育の授業展開を！**

- **低学年から基本的な動きを身につける**
→体育の授業において、個々の児童が「できる喜び」を感じられるように、発達段階を考慮し、場の工夫やスモールステップの授業づくりを行う。
- **「運動量を確保した授業づくり」を展開する。**
→体を動かす場面を多く取り入れた授業づくりを行うとともに、授業外でも運動をする機会をつくる。
- **「体力づくり推進計画」の作成・見直し**
→学校全体で体力づくりの継続的指導を推進していく。

→島本町教育研究会、体育部会や大阪府立島本高等学校、大学(連携協定)と連携して実技講習会を開催する。